

嶺南地区

第2層協議体



設立当初のメンバー

団体名

れいなんスマイル・サポート

スローガン

スマイルでサポート！

協議体の特徴

令和3年5月に第2層協議体を設置。

協議体は、地区社会福祉協議会を母体としているが、地区社会福祉協議会は、会長をはじめ、福祉活動推進員、地区振興協議会長、区長会、民生児童委員、長寿会、ボランティア、食生活改善会、子ども会等のメンバーにて構成される。

令和4年7月に東金市内の第2層協議体で最初に生活支援の有償ボランティアを開始。調整役である事務サポーターは定期的に情報交換会を実施している。

令和7年にはサポーター向けの研修会を実施し、実践的な知識を習得するとともに、地区内の介護事業所や地域包括支援センターとのネットワーク構築を図った。

これまでの歩み

平成29年
令和3年5月

高齢者ニーズ調査を実施（SCが実施）
第2層協議体として、れいなんスマイル・サポートを設立

令和4年7月

生活支援「れいなんスマイル・サポート生活支援隊」設立

令和7年7月

サポーター向け研修会を実施



暮らしのちょっとした
困りごとを助け合う

れいなんスマイル・サポート生活支援隊

- ❖ 地区の高齢者が安心して暮らし続ける地域を目指し、住民同士で助け合う有償の生活支援ボランティア団体
- ❖ 一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を対象に、庭の草取り・ゴミ出し・簡単な掃除・話し相手等に対応
- ❖ サポーター（ボランティア）は全て地区住民。20代～80代、約40名がサポーターとなり活動している。
- ❖ 調整役である事務サポーターは、定期的に情報交換会を開始し、より良い支援に向けて話し合っている。
- ❖ 令和7年7月には、サポーター向け研修会を開催し、助け合い活動に役立つ知識を身につけた。



❖ 利用者の声

「病気になって体がだるい時があり、家の掃除などが思うようにできないことがありました。掃除してもらい、大変きれいになって嬉しく感謝しています。地域の支え合いの大切さがわかりました。地域にこのようなサービスがあって本当に助かります。」

❖ サポーターの思い

「いつかは自分も高齢者になって困りごとが多くなってくる。誰しもが通る道だから、体が動かせるうちに協力したいと思った。今は地域のつながりが希薄になっている。この活動を通して地域のつながりが持て「安心」につながることを願う。安心して暮らせることはとても大事であり、災害時にも地域のつながりが大切になる。これからも「支え合いの地域づくり」に取り組んでいきたい。」

